

Shift Knob (Ball Shape)

シフトノブ(球形状) No.A1340-03

取付・取扱説明書

AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1

TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ シフトノブ をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

ご注意 ※当製品の装着に際し、以下の注意事項を厳守してください。

1. 本書に記載する説明に従って装着を行うこと。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむをえない場合を除く製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないこと。
2. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、又は当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
3. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ(株)発行の整備解説書を参照に作業を行うこと。
4. 当製品の装着は、下記に記す適合車種欄に記載する車両にのみ行うこと。
5. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正でない部品が取付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故等については、一切の責任を負いません。

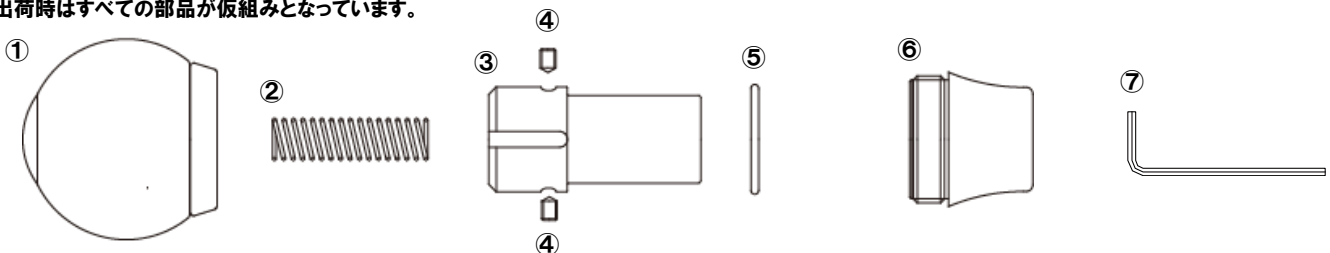
適合車種

AT(ストレート式)車

構成部品

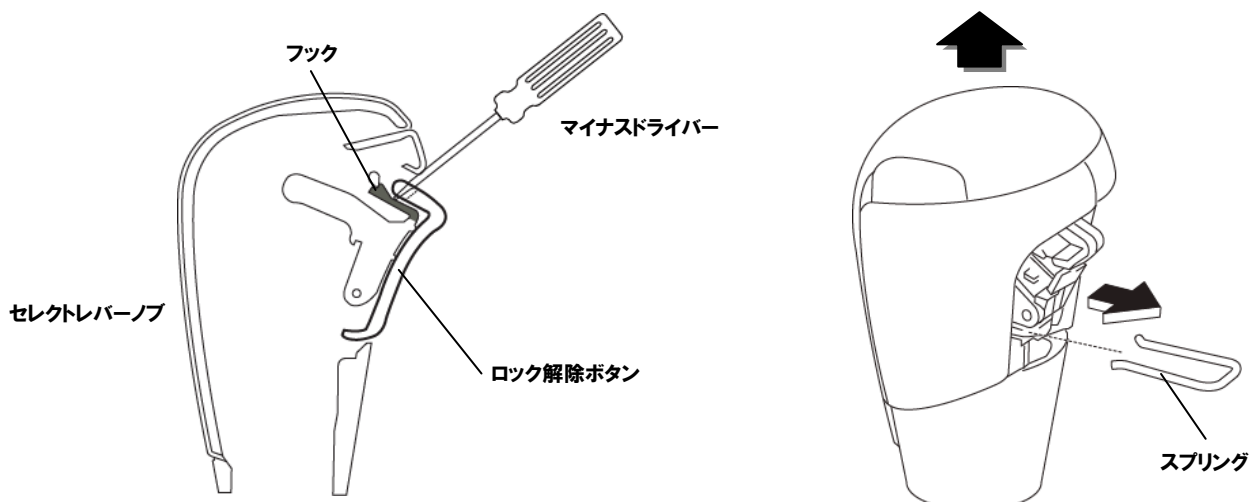
No.	部品名称	仕様	数	No.	部品名称	仕様	数
①	シフトノブ	本革巻(本体 ABS/リング部アルミ製)	1	⑤	Oリング	NBR製	1
②	リターンズプリング	外径Φ12 L=40mm	1	⑥	ボトムカバー	アルミ製 ブラックアルマイト仕上	1
③	インターナルシャフト	アルミ製 グレーアルマイト仕上	1	⑦	六角レンチ	2mm HEX	1
④	セットスクルー	M4サイズ	2				

※出荷時はすべての部品が仮組みとなっています。



装着手順 (純正セレクトレバーノブの取外し)

1. エンジンを停止し、パーキングブレーキをしっかりと掛けてください。
2. シフトロックを手動で解除し、セレクトレバーを“N”レンジにします。
3. 下図を参照し、セレクトレバーのロック解除ボタン上部にある凹部に細いマイナスドライバーを差し込み、灰色部分のフックを押しつけてロックを解除し、ロック解除ボタンを取外します。
4. 下図を参照し、セレクトレバーノブを固定しているスプリングを取外し、セレクトレバーノブを上へ引き上げて取外します。




装着手順（シフトノブの取付け）

5. 図1を参照し、セレクトレバーに⑥ボトムカバーを通します。
6. 図2を参照し、セレクトレバーに③インターナルシャフトを通します。
7. 図3を参照し、③インターナルシャフトの切欠き溝が車体前側に向くようにセレクトレバーにしっかりと押込んでください。

正常な位置まで③インターナルシャフトを押込むと、図4★印の寸法は13.8mmとなります。（シフトポジション”N”レンジ時）

8. 図5を参照し、付属の⑦六角レンチを使用し、④セットスクリューを締込み③インターナルシャフトをセレクトレバーに固定します。

④セットスクリューの先端は、セレクトシャフトの矢印◆の位置に当たります。様子を見ながら左右均等に締付けてください。左右均等にシャフトに当たったら、しっかりと本締めします。

 使用過程時の緩みを防止するため、④セットスクリューのネジ山に、市販のネジロック剤（中強度）をごく少量塗布してから取付けされることをお勧めいたします。

9. 図6を参照し、固定した③インターナルシャフト上部の溝に②リターンスプリングを載せます。

10. 図7を参照し、①シフトノブを取付けます。①シフトノブ内側にある回転止めの突起が③インターナルシャフトの切欠き溝に入るように、差込みます。

11. 図8を参照し、①シフトノブを下方へ押し、回転止めの突起が溝から外れないよう注意しながら④ボトムカバー締付けます。図8の回転矢印を参考に、締付け方向を間違えないように注意してください。

12. シフトノブを押しながら、シフトレバーを“P”レンジに移動します。

13. 純正セレクトレバー時と同じようにシフトロックが効いているか、またスムーズなセレクト操作ができるかを確認して、作業完了です。



図1



図2

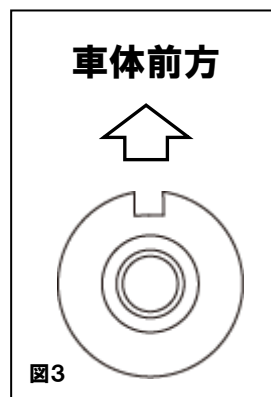


図3

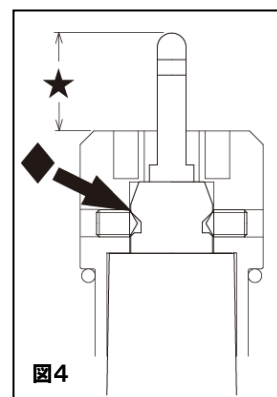


図4



図5



図6

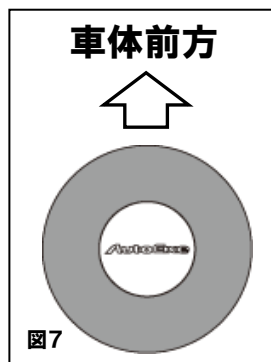


図7



図8



完成図